

## ER 局在タンパク質を特異的に標識・精製するキット

## ER-Protein Capture Kit

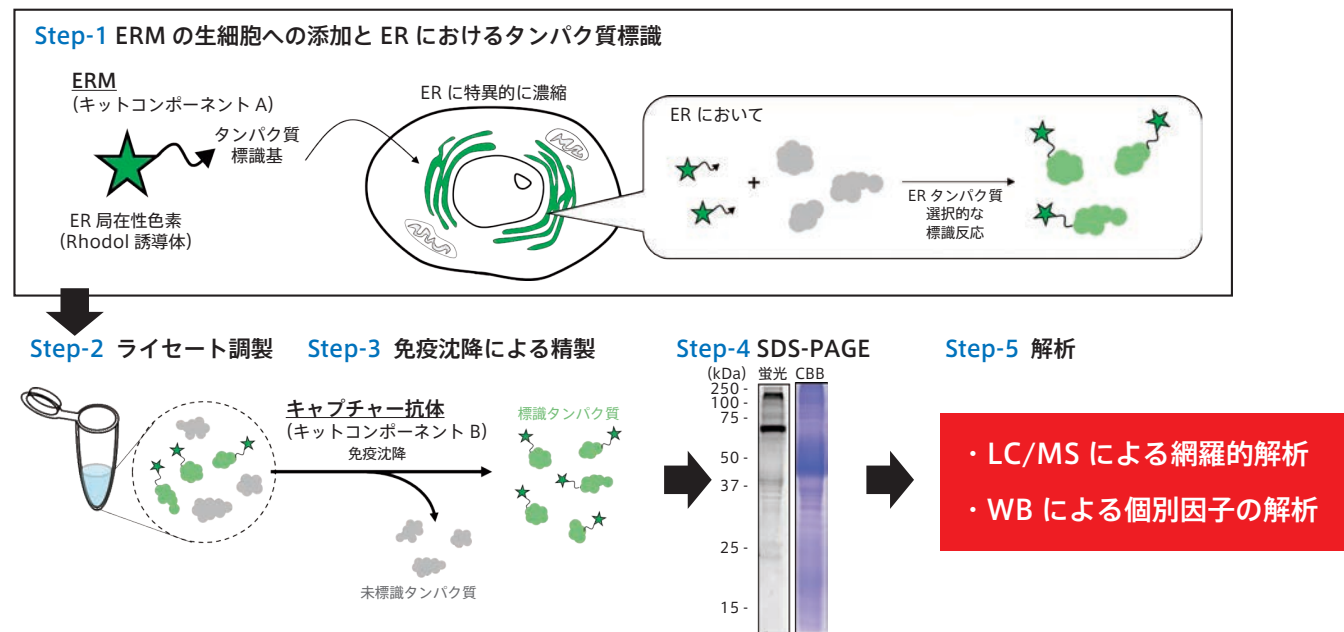
小胞体 (ER) 局在タンパク質を特異的に蛍光タグで標識し、そのタグキャプチャー抗体により標識タンパク質を免疫沈降法で精製できるキットです。ER 関連タンパク質の網羅的同定や ER ストレスなど刺激有無での標的タンパク質の ER 局在量の定量解析に有用です。

※本製品は京都大学工学研究科 浜地格教授・田村朋則講師の研究成果をもとにフナコシ株式会社が製品化・販売しています。

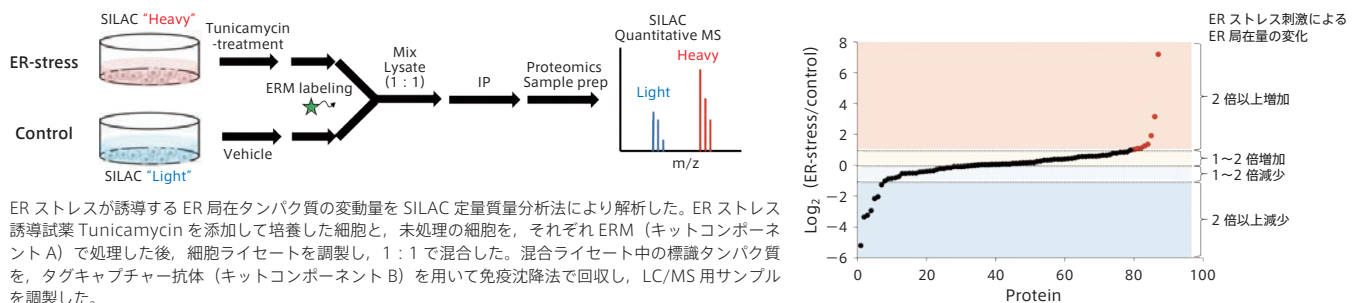
原著論文 Fujisawa A., et al., *J. Am. Chem. Soc.*, **140** (49), 17060~17070 (2018).

## 原理とアッセイフロー

ER 局在性タンパク質標識試薬 ERM (キットコンポーネント A) は、ER 局在性緑色蛍光色素 (Rhodol 誘導体) にタンパク質標識基が付与された化合物です。ERM は生細胞に添加すると色素部分の特性により高い ER 局在性を示し、速やかに ER に濃縮されたのち、タンパク質標識基を介して ER タンパク質に蛍光タグを標識します (Step-1)。標識反応後に細胞を破碎して細胞ライセートを調製し (Step-2)、タグキャプチャー抗体 (抗 Rhodol 抗体, キットコンポーネント B) を用いて免疫沈降法を行う (Step-3) ことで、ERM で標識された ER タンパク質を選択的に回収することが可能です。回収したタンパク質は蛍光基がついているため、SDS-PAGE で分離後、CBB/銀染色または蛍光イメージャーで検出が可能です (Step-4)。SDS-PAGE で分離後は、LC/MS による網羅的なプロテオミクス解析、または任意の抗体にてウェスタンブロット法 (WB) で ER タンパク質の同定が可能です (Step-5)。



## 使用例 (ER ストレスによる ER 局在タンパク質の変動量の定量的評価)



[メーカー: FNA]

品名	商品コード	包装	価格 (¥)
ER-Protein Capture Kit	FDV-0039	1 kit	60,000

## キット内容

- Kit component A (ER 局在性タンパク質標識試薬 ERM)
- Kit component B (タグキャプチャー抗体)

※Kit component A は ERseeing (#FDV-0038, p.26 参照) と同じ試薬です。単品購入も可能で、ER イメージング試薬としてもご使用いただけます。

※免疫沈降に必要な試薬・バッファー類は含まれていません。別途ご用意下さい。